

令和6年度 第2回学校運営協議会 会議録

- 1 日 時 令和6年10月30日(水) 11:10~12:00
- 2 場 所 盛岡工業高等学校百年館 第1研修室
- 3 出席者 森 達也 岩手県立産業技術短期大学校 校長
池 浩之 岩手県工業技術センター 専門幹研究員
浅沼清一 エスペロの会 会長
野田純孝 株式会社ミクニ盛岡事業所 所長
中里哲夫 同窓会 体育後援会副会長
中村知泉 P T A 元P T A 3学年委員長
瀬戸和彦 校長
尾崎芳彦 副校長(全日制)
千葉隆一 事務長
田鎖充 教務主任
小野寺真由美 総務主任
- 4 役割 司会 尾崎芳彦
議長 森 達也
記録 小野寺真由美

5 会議録

(1) 開会

(2) 校長挨拶

最近の学校の状況をお伝えし、挨拶とする。

ラグビー部が決勝で黒沢尻工業高校に勝利し、4年ぶりに全国大会に出場する。決勝戦は、全校応援した。ウェイトリフティング部が国民スポーツ大会で3位など、多くの部が活躍している。

本校卒業生の吉田雪乃さんは、スピードスケート全日本で500m優勝し、本校でも練習に励みオリンピックを目指している。

モノづくりコンテストや資格取得・検定などでも各科成果をあげている。

(3) 学校概況説明

教務部主任より

生徒募集のため、7月29日、30日に中学生一日体験入学を実施し、426人が参加した。昨年度より94人増。中学校へ出向いての高校説明会は、昨年19校であったが今年度は22校から依頼があった。

課題は、BYODで、パソコンを持たせることとその利用である。

総務部主任より

中間反省会議の資料をもとに、行事等の概況を説明する。

盛工匠祭が9月28日、29日に前潟イオンで開催され、来場者は1,650人。

10月からデュアルシステムが始まっている。

盛工祭一般公開は10月26日で、来場者は1,000人を超えた。

中学校P T Aの学校見学は、だいたい毎年2件で、今年度は西根第一中学校と滝沢南中学校が来校した。

ラグビー全国大会に向け、募金や応援について動き始めている。

いじめの早期発見に努めている。中間反省後、1件認知した。

ヘルメットの着用率は、昨年度より増えているがそれでも少なくても5.1%である。

現在の進路状況は、就職は130人内定しあと5人、公務員は5人合格、進学はこれからで、大学を約20人希望、産業技術短期大学は20名希望し専門校枠で10人が合格し10人が後期を受験予定。

芸術鑑賞会は、6月27日に本校体育館でパントマイムを鑑賞しました。

寮生は今年度は41人と多く、県内各地から生徒が入学しています。

(4) 協議

ア 地域及び企業との連携についての意見交換

【委員】

我が社に2人来てもらった。即戦力になっている。

工場見学に来た際、質問や感想をその場で言うことはなかなかできない。しかし、学生がもっと知りたいことがあるのではないかと思う。投書箱ではないが、帰ってから要望やこんなことを知りたかったとかを企業に投げかける機会があるといい。

【委員】

インターンシップに来てもらって、鉄瓶の作成に関わり、流し込みやひっぱり試験など普段では見られないところを経験してもらったりしている。呑み込みが早く丁寧で、かなり優秀な生徒さんであった。欲を言うと、好奇心を持って欲しい。

【委員】

初めてだから遠慮しているのかもしれないが、積極性や好奇心が欲しい。

校長

インターンシップはたった3日で実施している。日数を増やすと企業としてはどうなのだろうか。

【委員】

我が社の場合は問題ない。歓迎である。

【委員】

日程の調整は必要だと思う。

総務主任

デュアルシステムは、長期で実施され、昨年度より人数が増えている。

副校長

インターンシップは、1日目に会社概要を聴き、2日目に作業について説明を受け、3日目に働くというくらいの流れがほとんどだと思われる。デュアルシステムは、毎週1日、計10回で実施。今年度は、7学科中5学科、計20名くらいが実施。指導してくださる企業が大変だろうが、マッチングしている。

【委員】

興味を持った生徒は企業で長続きする。デュアルシステムなどで興味を持った生徒が企業に入るといい。

地域活動についてはどうだろうか。

【委員】

エスペロの会の「エスペロ」とは希望という意味で、健全育成の会である。コロナでなかなか活動が出来ずにいたが、昨日コンサートを開催した。500人くらいの集まりで、子供たちの前で盛工の吹奏楽部にマーチングをやってもらった。地域活動に盛工は欠かせない。

活動は、挨拶運動やクリーン作戦が主な活動である。学校間交流などで高校生がとても役

に立っている。小中高の連携で、高校生を見て中学生が学び、中学生を見て小学生が学ぶ。地元にとってありがたい。

自転車の交通の様子も良好だし、挨拶もする。昔は、コンビニの前でたばこを吸うとかあったが、今はそのようなことはない。

盛工祭に来たが食堂も満杯で賑わっていた。ラグビーも勝って、勢いがある。

校長

クリーン作戦とか、地域と連携できるといい。また、文化祭で地域と連携した催しができるといい。

【委員】

以前、クリーン作戦を羽場小学校と一緒にやったことがあった。

イ 部活動の活性化についての意見交換

【委員】

部活動が活発のように思える。

校長

「全員が必ず部に参加しなくてはならない」とはなおらず、加入しなくてもよい。しかし、人づくりとして部活動を捉えている。

【委員】

母校の活躍・活性化はうれしいことで、同窓会としてもバックアップしていければと考えている。

高校に限らず、部活動の在り方が問われている。少子化や働き方改革など課題があるが、そこを乗り越えて部の活躍を期待する。入試の在り方も変化し、特色入試も行われる。技術者になりたいと盛工を選ぶことに加え、部活動にも興味を持ってもらいたい。

岩手留学ということで県外からの募集を来年度黒工でも実施する。どの学校でもやりたいと手をあげることはできるのか。

校長

岩手ものづくり留学を募集定員に達していない学校から進めている。県内の生徒が不利にならないように配慮されている。

【委員】

昔ではあるが、自分が在籍していたころは 1000 人規模で、定時制生徒もいっぱいいた。盛工のアピールを取り組んでいきたい。

【委員】

部活動が盛んで結果を出していることはいいことであるが、先生方が休めているのか懸念される。平日に部活動が休みでも授業はある。盛工には、他の学校になかなかない部もあり、練習試合や大会などは遠くまで行かなければならないことも多く、負担が多いのではないかと思う。

校長

以前のような長時間の練習ではなく、生徒が考え練習する科学的な練習が主流となってきている。それでも先生方の負担はある。

【委員】

強い部はメリハリがある練習を行っている。先生方も生徒も休むことは大切である。

校長

超勤 100 時間を超えると校長が教育委員会に呼ばれ指導されるようになっている。今の

ところないが、働き方改革もあり、先生方の休みは確保したい。

【委員】

部活動について、お金の面ではどうだろう。

総務主任

教育振興費の会費収入が約 3100 万円で、部活動に対する補助の部活動奨励費の予算が 3100 万円ではほぼ使い切るほど活発である。その他については繰越で賄っている感じである。部活動について、同窓会からの支援もある。

また、外部コーチもある。

副校長

外部コーチは、ラグビー部だけでも複数名いて、全体で 20～30 人ほどいる。外部コーチは、いろいろな役職名があり。部活動支援員など県費で賄われるコーチもいる。

【委員】

人間形成上、部活動をやった方がよいと思われる事例も多い。野球部で、背番号はもらえなかったが、考え方がしっかりしていて、広い視野で応えてくれる卒業生もいる。部活動の成績にこだわらず、人間形成をすることを目標に取り組み、その上で部の成績が向上するとなおいい。

【委員】

相手を理解しようとする姿勢が培われることは大切である。

校長

運動部だけでなく、文化部でも先ほど話が合った吹奏楽部や軽音楽部、囲碁将棋部なども活躍している。ロボットコンクール、自動車競技、ものづくりコンテストなどでも部活動同様頑張っている。

ものづくりコンテストについて紹介したい。

副校長

ものづくりコンテスト全国大会が 11 月に東北地区が会場で開催される。化学分析部門は、本校会場で開催される。

【委員】

昔は、部活動と言えば運動部だったが、文化部の活躍やものづくりコンテストなどもマスコミで取り上げられるようになった。部活動加入の割合はどうだろうか。

総務部主任

資料が手元がないので正確ではないが、部に加入していない生徒はクラスに 2～3 人程度。運動部と文化部では運動部が少し多いかなという感じ。部に所属していない生徒に対し、担任の先生が、部とも委員会とも言えない放送局や新聞局を勧めて所属したりしている。そんな生徒が所属している放送局が今年夏の「純情応援歌」の番組で優秀賞を取ったりしている。

【委員】

すべての部が活躍してくれ大きくアピールできるものがあり、全国に通用するものがあると活性化につながる。人間形成は企業としても望むところである。

【委員】

地域や企業との連携、部活動の活性化、今後の活動・活躍に期待する。

(5) その他

第 3 回は 2 月中旬の予定である。

(6) 閉会